

第 16 回小平市水泳協会理事会

議 事 録

2021・12・16

出席者 会長 ○金子 副会長・理事長代行 ○河野
運営本部 ○清水 ○瀬戸口 ○若林 広報 ○土方 普及 ○堀川 ×竹村 競技 ○堀尾
体育協会代表委員 ○若林 都下水連 ○堀尾
指導員 ○水野 ○齋藤 ○岡部 ○安部

2021 年度ジュニア担当指導員・普及委員会副委員長も出席とする。(運営規定第 2 条③適用)
竹村副委員長は体調不良により欠席

議 題

A：報告事項

1. 小平市体育協会関係

1) 第 14 回理事会残案件

Q1→小平市体育協会加盟団体として先行して当協会から税負担をしている事は、質疑応答で説明して頂いて構いません。地域スポーツの振興が体育協会の目的と約款に記載してある。

税負担は原理原則なのかもしれませんが、本件の推進が加盟団体に加入しないスポーツ団体が加速するか考えられませんか？

A1→税負担は、税法上課税はやむをえないと考えます。ただ、実施に当たって具体的な例示、分かりやすい説明が必要と考える。体育協会に加盟して、メリットがあること。不利益がないことがポイント思う。

以下は新規質問事項

Q2→2022年度(令和4年度)4月からの市報原稿締め切り日を早めに教えてください。

昨年は2021年2月20日にHP掲載でした。市民水泳記録会(4/5号予定)の締め切り日を知りたいです。(堀尾)

A2→12月14日(火)時点での小平市体育協会ホームページには掲載無し。明日、確認します。

12月15日(水)時点で、市から「市報原稿締め切り日」について届いていない。引続き確認依頼した。

2) 令和4年小平市体育協会新年賀詞交歓会開催中止について

・12月9日メールで連絡あり。

【中止理由】

会場として予約している「ルネこだいら」の使用制限(定員数40名まで、飲食禁止)に則り、開催を見合わせることにいたしました。

12月10日水泳協会ホームページの正会員の皆様向けに掲載いたしました。

12月6日付け、中止のお知らせが代表者宛、郵送されています。

2. 東京都水泳協会関係 なし

3. 都下水泳協会連合関係

1) 2022年度の市町村水泳大会は町田市(会長職市)で検討しているとの情報を12/11辰巳の都水協競技会時に入手しました。

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) 競技委員会へ仮払い 600円(12月16日付)

→仮払い内容は競技委員会の協議事項を参照。

2) 第3回水中ウォーキング教室・教室会費徴収従事者4月～10月報償費に対する源泉額納付

支給総額：56,000円 税額：1,715円 支払日：12月8日(水)

→領収証書を回覧にて確認を行った。

3) 11月12月2か月教室報償費

管理台帳を三役・理事へ本理事会前にメールにて報告を行った。各対象者へは12月9日（木）に個別に金額をメールにて報告済。報償費振込は2022年1月3日（月）に行う。

- 4) 11月度みずほ銀行口座会計報告（第15回理事会残案件） 11月末残高：1,347,622円
→通帳及び管理台帳を回覧にて確認を行った。

- 5) 11月29日教室会費振替結果
振替予定：134件 431,150円 振替済：133件 428,050円 振替不能：1件 3,100円
資金合計：428,050円（1）

アプラス手数料
基本：3,000円 請求手数料：100円×134件＝13,400円 振込手数料：500円
手数料合計：16,900円（2） 消費税：1690円（3）

アプラスからの支払い金額：409,460円（1-2-3）
→振替不能者1名（木曜ジュニア）は12月13日（月）に協会口座へ振込みして頂きました。
→アプラス清算書を回覧にて確認を行った。

- 6) 各委員会で2021指導員以外の委員へ第19回理事会～第23回理事会へ出席要請結果（第15回理事会残案件）
※（ ）は返信結果 返信締切：11月30日（火）
広報委員会⇒中條委員（第22回3/17出席→**年度途中退会**） 中村委員（第19回2/3出席）
競技委員会⇒関口副委員長（欠席） **権田委員（未回答）**
水野委員（欠席） 松尾委員（欠席） 榎本委員（欠席）
鈴木（良）委員（第19回2/3出席・第22回3/17出席）
市町村総体特別委員会⇒**水野委員（未回答）**
→市町村総体特別委員会/水野委員は河野副会長より出席要請し回答待ち。

- 7) 2021年度ワンポイント前期実績表の提出を受け、報償費の記録（源泉金額差引）資料作成
→12月13日（月）に資料を三役理事へメール配信済

- 8) 第4回水中ウォーキング教室傷害保険料金
保険料：1000円 振込手数料：220円 振込日：12月10日（金）
→振込明細書などを回覧にて確認を行った。

- 9) 令和4年度スポーツ安全保険改定 以下が改定のポイント
①新規加入・中途加入とも4月1日時点の年齢に変更
②個人活動も補償対象となる区分を新設。
→資料回覧及び事前に関係者へメール配信を行った。

- 10) 2021年度予算見積書提出締切 年内までに提出をお願いします。
現時点での提出委員会
①市民まつり実行・会議管理部門 ②競技委員会

- 11) 2月3月プール使用料支払いについて
本来であれば1月体育館休館日となるが、1月は休館している為、窓口が開いている時間であればいつでも可能。
土日であれば清水運営本部長も対応可能である。
日程を決めて頂きたい。希望日は三役・運営本部長会議が開催される1月8日（土）を希望する。

市民まつり実行・会議管理部門

- 1) 2022年度予算書提出
11月27日（土）2022年度予算案提出する。（前回、報告漏れ）、ドロップボックス指定のフォルダに保存済み。

- 2) 理事会日程変更に伴う会場変更について
12月3日（金）、前回理事会で、2022年2月17日（木）理事会が2月16日（水）に変更となったため、会議の変更手続きを行った。市民総合体育館第2会議室を確保、メールにて報告済み。
→当日は成人シルバー指導員が出席対象の為、メールにて日程変更及び開催場所の連絡済

5. 広報委員会

1) 委員会を開催しました。

2021年12月1日 19:05～体育館第3会議室

会長・副会長 広報委員会全員出席 (土方 齋藤 菊地 岡部 中村 各委員)

2022年度の委員会体制について

委員長 土方みどり

副委員長 齋藤麗子

会計 菊地正子

HP担当 岡部泰子

2022年度事業 水協クイズ 年3回

水協だより「スイスイ」年3回発行

6. 普及委員会

1) 指導員用スイミングキャップについて (第15回理事会残案件)

加藤スポーツへ刺繍代金を確認した。300円/枚 (消費税別)

→見積書はDropboxの本理事会資料フォルダーへ格納した。

納期は2週間かかる。1枚でも発注可能。

2) 水中ウォーキング教室について

参加人数：13名 石塚指導員に参加名簿と同意書を提示済み

同意書：今回からMfaceを使い同意書を取得する方法に切り替えたが、問題なく得ることが出来た。

→一部の参加者から紙ではセキュリティで不安で紙ベースで提出したい声もあった。

7. 競技委員会

1) 第1回競技委員会開催

・実施日時：2021年12月5日(日) 13:00～14:30 福祉会館第5集会室

・参加者：三役：河野副会長

競技委員会：安部、榎本、権田、鈴木、関口、松尾、水野、堀尾 8名全員参加 敬称略

・内容：

●2022年市民水泳記録会の運営：資料はDropboxへ格納

① 考え方：2022年6月の新型コロナ感染症の状況は現時点でわからないために実施する場合は選手、競技役員
の健康を第一に考えて新型コロナ感染症対策を行った運営とする。

② 運営：昨年検討した実施可否の判断基準、運営内容とする。

(ア) 実施可否の判断基準：判断時期、基準は昨年と同じとする。

(イ) 実施の場合は新型コロナ感染症対策を行った運営とする。

(ウ) 昨年と異なる運営

競技委員の負担軽減、参加者の手続き負担軽減のため

・4/23(土)、24(日)の体育館の選手受付は午後のみとする。

・Web申込みを検討する。

現行の参加者個人申込票の記入内容がプログラムまで連動しているためにMface入力内容で充足する
かどうかの確認必要。

団体申込みの運用検討。

Mface入力内容が正しいかどうかをチェックする運用検討。

参加費の手数料が無料になる振込方法の検討必要。

新規で河野副会長へのお願い事項

→堀尾委員長がMfaceにログインできないために個人申し込み票と受付リストを送付しますのでMface申込み
が可能なのか、Mface申込みからプログラムのスタートリスト作成まで一気通貫での作成可能かどうかをご
確認頂きますようお願いいたします。可能ならば年内でのご確認をお願いいたします。

Q→Mfaceのアクセス権ある堀尾委員長がアクセス出来ない原因を教えてください。

A→IDとPWを入れてもアクセス出来ない為、

※Mfaceはネット上からのアクセスの為、ネット環境あればどこからもアクセス出来る。

河野副会長及び清水運営本部長がアクセス出来ない原因を調査する。

● 2022年度予算案の検討

記録会：歳入：参加費をいただく。(小中学生：200円、高校生300円、一般400円)

歳出：機械審判装置のバッテリー(40B19L)6,000円購入を追加。

市民大会：歳入：昨年と同じ

歳出：昨年と同じ。A4レーザーカラープリンターの機種はキャノンLBP621C。(28,000円)

⇒プリンターの必要台数

記録会2台：お手数ですが財政企画保有のプリンターは印刷速度が速いために貸し出しをお願いしたい。

あと1台は水野委員保管のプリンター。予備は印刷速度の遅い(PCからプリンターへの伝達速度が遅い)堀尾委員長保管のプリンター。

市民大会3台：財政企画保有をお借りしたい。水野委員保管、堀尾委員長保管。

財政面で許されるならば新たなカラープリンターは予備として予算計上したい。

※堀尾委員長保管の故障プリンターは理事会で承認後に廃棄。

報償費は教室運営の状況で減額もしくは無償の可能性あり。

● 2022年度競技委員会の体制

委員長は堀尾、会計は安部、副委員長は2022年3月までに選出する。

Q→記録会が一人1種目、参加費無料で報償費無しで計上されています。

競技役員は正会員のみとなっていますが、現時点での正会員数が今年度途中で退会した正会員もいますので80名です。当日67名確保を予定していますが、正会員のみで報償費無料で確保出来ますか？

A→記録会は参加費を徴収する。競技役員は正会員で30名程度の必要最低人数で行う。

30名程度の内訳は競技委員、理事会メンバー、指導員での確保を考えている。

午後からの短時間の記録会運用なので無償で競技役員を確保できると考える。

報償費なしで歳出削減に協力したい。

8. 都育成事業特別委員会 なし

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

1) 東京都新春マスターズ大会 25m 1月15.16日

エントリー：小柴200個メ、津山100背・50背、寺崎25.50.100.200平、伴25自、金子100平。(敬称略)

2) 新春マスターズスイムミート2022千葉会場 2月12.13日

エントリー：津山100個メ・50背、小島博之50自、金子100平。(敬称略)

→1) 2)ともに結果は水協HPで報告する。

11. その他報告事項

1) 第15回理事会残案件

①体協より依頼あり、ワンポイントレッスンの実績報告を11月末締め、12月に指導料の支払いとのこと。実績報告は安部指導員が担当。

Q1→指導員は源泉額を知っていますか？当協会からの報償費支払い時の源泉額と都育成事業特別委員会の額が違う。ワンポイントレッスンの源泉額が当協会からの源泉額と同じなら問題ないが違う場合は説明が必要。

A1→体育協会島野副会長より、水協が示したとおり、係数は0.1021

Q2→担当指導員への源泉額などの説明は体協から実施して頂けるのか？

A2→5月のワンポイント会議で指導員へは源泉率まで説明はしなかったが、源泉される事は説明した。

源泉額は体協が決める事なので水協は関与すべきではない。

②教室会員カードの管理について

普及委員会保管：成人用104枚 ジュニア用65枚

キャビネット内保管：成人用35枚

2020年1月28日作製のジュニア用400枚

2020年1月18日作製のジュニア用400枚は入会セットと各庶務へ配布した。

入会セット(120枚)はそのままとし、各庶務へ配布品は普及委員会で回収している。

→現時点で入会セット以外で95枚を見つけたので途中経過報告を行った。引き続き確認する。

③タッチ板の修理もしくは新規購入の市長宛ての要望書を11月27日(土)に文化スポーツ課へ提出した。

Q→回答は何時頂けますか？

A→年内に回答する(現在決済中)

2)小平市のHPの「市民総合体育館」に、下記が掲載されていました。

「市民総合体育館は、照明のLED化工事に伴い、令和4年1月5日(水曜)から1月31日(月曜)まで、臨時休館します。受付窓口は、午前8時30分から午後5時まで行っています。」

先に体協に、水協HPにプール閉鎖について掲載することについて話したところ、市及び体協が掲載する内容を掲載してくださいと言われていました。

Q→市及び体協が掲載する内容を掲載とはどの資料なのか？

A→市は情報公開しているが、体協はこれから公開となっている。

水協HPへの公開は金子会長担当で対応とする。

3)温水プールの2022年度使用枠について、体協からの回答。

11月12日に提出のプール使用枠は、基本的には確保する。

但し、4か月前に一般使用のシステムから申込みが入った場合は、一般申込みを受け入れる。

よって、水協が使用する場合は、4か月前にプール使用の意向を伝えてほしい。

4)体協決算報告書について

積立金の目的 ⇒ 例えば加盟団体が使用するロッカーの購入等の必要備品購入や、緊急時や臨時の出費に備える。

賛助会費の目的 ⇒ 会の運営に充てるもので、具体的な項目はない。

Q→ロッカー購入等に24,779,673(令和3年3月31日現在)もの金額が必要なのか？

積立金の目的を水協へ指導するのであれば上部団体の体協も使用目的を明確にする必要がある。

また理事会で質問したのは予算額72,785,000円の予算に対して60,028,462円の決算でマイナス12,756,538円にも関わらず200,000円もの積立金を実施している事の回答となっていない。

A→再度、確認する。(担当：金子会長)

B：協議事項

- 1.小平市体育協会関係 なし
- 2.東京都水泳協会関係 なし
- 3.都下水泳協会連合関係 なし

4.運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) 2月3月の2か月教室欠員募集までのスケジュールなど(第15回理事会残案件)

12月17日(金)⇒協会HPへ情報公開

①協会HPへの原稿作成及びアップ(担当：堀川委員長)

②Mface原稿作成者(担当：堀川委員長)

※Mface原稿の確認(重要案件)

懸念される案件

①新設の火曜・金曜夜間教室の開催判断は？

プール使用料 17,500円 報償費 3500円×7回=24,500円 合計 42,000円

教室会費：5,300円

最低開催人数：8人(プール使用料及び報償費からの算出 共通経費は加えていない)

②2か月教室に申し込んでいない既存会員への文面

③2か月教室に申し込まないと意思表示している既存会員への文面

④既に2か月教室へ申し込んでいる教室会員への文面

⑤定員オーバーした場合の抽選方法 既存新規が優先

⇒1 教室8名以下になると赤字になる。コロナ前のレーン人数制限がない時には全ての教室を考えて財政を

運営出来たが、人数制限があるので1教室ごとに採算を考える必要がある。その為に教室会員募集時に応募人数が8名以下の教室は開催しない、及び②③④の加えた原稿を堀川委員長が水協HP内で非公開で作製し、12月18日(土)19日(日)で三役・理事で確認とし、12月20日(月)から水協HPで公開とする。

12月20日(月)⇒市報掲載 金子会長が市報原稿提出済

12月27日(月)⇒募集締切

12月29日(水)⇒結果通知をメール配信締切

①抽選及び連絡(担当:堀川委員長)

②同意書(Mface)など参加者へ送付(担当:堀川委員長)

③外部からの入会者への会員カード発行(担当:堀川委員長)

④参加費振込及び既存教室会員の場合は口座振替案内

(担当:堀川委員長・清水運営本部長)

振込は1月28日締切となるが既存会員の振替が間に合うか検討が必要。

2022年

1月7日(金)⇒同意書提出締切

欠員募集の同意書情報を纏めて担当指導員へ提出(担当:堀川委員長)

Q→既に申込済の教室会員への2月3月同意書提出方法は?

A→すでに決定している教室会員への同意書の提出は、Mfaceか教室初日に記入提出。

1月28日(金)⇒会費振込最終日及び振替日

2月1日(火)⇒2月3月教室開始

2) 2月3月教室会費振替について

1月27日(木)振替で教室会員へアナウンスしているが、欠員募集での入会者で既存会員がいる場合は口座振替となる為、欠員募集が確定及び教室開催してから振替でも良いと考える。

2月28日(月)振替にした場合のアプラス入力期間は2月7日(月)~2月14日(月)午前中となる。

教室会員には1月末までキャンセル連絡をするが2月10日(木)までならキャンセル対応可能。

⇒2月28日(月)振替とする。メールアドレスを持っている教室会員へは清水運営本部長から連絡を行う。

3) 修正予算の提示方法(第15回理事会残案件)

⇒本理事会議事録公開時に水協HPで公開とする。

4) 協会HPのトップページ固定メッセージについて(第15回理事会残案件)

2022年度教室案内に変更をしたい。

2022年1月⇒2022年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などは2月上旬にお知らせ致します。

2022年度4月入会の募集は〇月〇日発行の小平市報にてお知らせ致します。

2月⇒2022年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などが決まりました。

詳細は以下のトピックスからご覧になれます。

5) 2022年水協HPのスタッフブログ名称について(第15回理事会残案件)

2022年4月から教室会員も対象に広げるため、スタッフブログから「ブログ」に名称変更とする。

6) スタッフブログを教室会員へ展開について

目的:教室会員へ参画して頂き協会運営に興味を持っていただく

スケジュール:2022年2月教室再開に合わせ広報委員会で作製頂いたチラシ配布及び水協HPで公開

同時に教室会員へのブログ作成依頼のお手紙配布。

2022年度引継会議で各指導員へ協力依頼及び各教室会員で教室紹介会員を決めて頂く。

7) 指導員用プールマスク

①年間の支給枚数について

②都育育成事業が事業中止に伴う支給済の指導員用プールマスクの取扱いについて

※4)～7)は協議なし。次回以降の理事会で協議及び緊急案件は三役・理事へメールでの決済とする。

市民まつり実行・会議管理部門 なし

5. 広報委員会 なし

6. 普及委員会

1) 指導員用スイミングキャップについて (第15回理事会残案件)

- ・今後、指導員用スイミングキャップは、協会指定のものである必要があるのか協議したい

⇒教室会員との区別及び氏名が入っている事での公共性が保たれるので引き続き現状の方法で普及委員会担当にて継続とする。新指導員へは無償配布、2枚目からは実費とする。

次回の発注は来年度からとする。

2) 2022年度 教室体制について (第15回理事会残案件)

金子会長提案、堀川委員長提案、以下の清水運営本部長提案の説明及びジュニア指導員からの意見要望をお聞きした。

⇒以下で決定

①レーンの規制人数は決定事項の為、想定での人数での検討は行わない。

成人シルバー教室は6人/レーン・ジュニア教室は指導員2名体制の為、8人/レーンとする。

②成人シルバー教室は現状通りの12名募集定員の為、指導員は1名体制とする。

募集時に泳力などを事前に調査が必要。

③ジュニア教室は区分4へ、連続2教室開催で1教室は16名定員で指導員2名体制とする。

④レーン規制があるので3カ月の短期教室とする。

1回目：4月～6月 2回目：9月～11月 3回目：1月～3月

※募集方法や会費徴収方法は継続審議

⑤水中ウォーキング教室は従来通りの年5回開催とし、3カ月教室へは組み込まない。

⑥今年度の教室枠とジュニア教室は③での開催で堀川普及委員長が指導員募集を年内締切で実施する。

指導員の応募状況によって教室開催の判断を行う。

清水運営本部長提案

短期教室(2か月教室 3か月教室)はメリット・デメリットあるが基本的な考えはレーンの人数規制がある事である。そこに指導員確保が可能かの問題も発生する。

前回の理事会で発言したように、レーン規制が緩和及び解除された場合にも6名/レーンで開催すれば10名程度の指導員で開催可能であるが、負のスパイラルへ入ってしまう。

【基本的な考え】

①短期開催

②3か月開催にするのであれば教室会費は1か月毎に口座振替にして1か月に3回開催に固定

③水中ウォーキング教室は例年通りの5回/年開催

【課題】

①欠員や移動のタイミング

②欠員募集も教室会員として口座振替と振込の選択可

③事務窓口の明確

3) 緊急時の対応マニュアル

⇒資料の確認を行った。本件は早急に指導員及び水協HPで公開とする。

指定管理者側へ説明時に災害時のマニュアルも必要とのご意見を頂く。

4) ホームページにて正会員(ボランティアスタッフ)の募集掲載について (第15回理事会残案件)

⇒継続審議

7. 競技委員会

1) 滅却申請：以前に理事会で承認されているが月日が経っているためにあらためて申請します。

- ・品名：プリンターA4
- ・備品番号：C10096
- ・管理委員会：競技委員会
- ・滅却理由：プリンター故障のため
 - ① 複数枚の印刷ができない。
 - ② 1枚印刷するごとにエラーになる。
 - ③ 白紙用紙が複数枚出る。
- ・滅却予定日時：2021年12月21日 8:00
- ・滅却の方法、場所：堀尾委員長自宅で小平市粗大ゴミにて廃棄
- ・滅却費用金額：600円
- ・滅却責任者：堀尾競技委員長
- ・備考：滅却プリンターはキャノン MF4010、平成22年6月購入、購入費用：19,110円

Q→滅却申請書を使用しての滅却は2018年から適用している。過去において滅却費用は無料であったが今回初めて現金が発生する。会計報告の費目を決めて頂きたい。

A→消耗品で良いと考える。

※本件は清水運営本部長から三役・理事へメールを差し上げ決済とする。
滅却費用支払いに運営本部報告事項1) 参照。

8. 都育成事業特別委員会

1) 第12回理事会残案件 スタッフブログへの対応についての提案 ⇒継続審議

2021年9月以降のスタッフブログについて（第11回理事会より継続案件）

2022年2月担当の都育成事業特別委員会担当者よりSDカードを郵送する時に担当不可の連絡があった。
都育成事業内で担当者を決めて次回理事会にて報告と第11回理事会で決まった。

【第11回理事会決定事項】

スタッフブログは、各担当委員会の輪番制や、教室会員へ展開する為に、教室に入る指導員には担当するなど、理事会でルールを決めている事である。

ルールを変えるのであるのであれば提案をして頂きたい。

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

1) エントリー時に必要な個人参加費のほか、チーム参加費が必要となっている。⇒継続審議

2022年度から、水協会計から負担していただきたい。

一大会1,000円が多く、年間5大会、5,000円を計上したい。

Q→水協として団体登録料は負担している。今までも各大会に参加している場合にチームエントリー料が発生しているのであれば、その負担は個人負担ですか？

過去の参加状況を確認すると少ないと3名程度で多くても7~8名程度である。

マスターズ登録者が小平市水泳協会の人材確保及び協会運営にも繋がる事を意識してマスターズ特別委員会が運営するのであれば、各大会の参加費負担も高額とは思えない。

しかし、デガネには厳しくチェックして頂きたい。

例えば、マスターズは黄色のTシャツを着て参加しているが、伴さんはキャラクター入りのポロシャツを現金購入している。小柴さんへは無料支給済。黄色Tシャツは貸与であればクリーニング代もその都度発生する。キャラクター入りポロシャツで統一して頂きたい。新規加入の方には購入をお願いしたい。

また大会ごとに協会旗を持参やブログへの協力など協会運営への協力体制も不可欠である。

A→黄色のTシャツは、ポロシャツを作成した段階で、マスターズ委員会が預かっていて大会で着用している。

正会員には貸与していて、各自管理している。都民生涯スポーツ大会時のみ、一般市民からの参加者には当日回収してクリーニングしている。今後もこのスタンスで行いたい。

マスターズ大会に参加するために入会した今回の4名の正会員へのポロシャツの購入については、入会目的から購入していただくことは、適切でないと思われる。

⇒期限を決めてポロシャツへの移行を推進して頂きたい。
協会旗の持参やブログ協力への発言も頂きたい。

11. その他協議事項

1) 2022年4月からのプール利用について（第14回理事会継続案件）⇒継続審議

【水協からの要望】

2019年度又は2020年度の開催時間及び日程を確保したい。

体協からの要請

レーン使用について、全教室を2レーン使用のこと。

1レーンの利用人数は現在8名であるが、都の指導により変更有。

貸切りは、団体使用枠の時間帯内で使用すること。なお、枠内の時間帯内であれば、2教室も可。

申込者の少ない教室については、統合するなど、工夫をすること。

【体協からその後の情報】

貸切枠の時間帯内の使用については、2020年教室体制のジュニア枠開始時間4時15分の15分のはみ出し使用は、承認する。ただし全教室2レーンの使用にすること。

メリット:はみ出しの15分間が使用できることで、ジュニア(1)、ジュニア(2)の開催が火～金4日間可能となる。

デメリット:各教室2レーンとなることで、1教室当たりの人数が減少する。

3レーンジュニアの会員へ3レーン認めない。

【その他】

①2022.4月の予約システムに、12月9日までにプログラムするので、その前にすべてを決定したい。

12月2日の理事会までに協議したい。

②ワンポイントレッスンの実績報告を11月締めで行う。12月に源泉徴収して個人の口座に振り込む。

次回の支払いは、3月に実績報告いただき、源泉徴収後4月に支払う。

③ジュニア教室会員(6年生)への意向調査や2022年度市報募集などの準備も平行して必要

⇒③については普及委員会からの回答無し

2) 指導員確保について（第11回理事会残案件）⇒継続審議

【第11回理事会決定事項及び意見要望】

意見要望を収集し以下の①②がハードルを高くしている原因である。

今後は①②とも必要条件としない。詳細は継続審議とする。

①指導員資格 ②正会員

3) 2021年度理事会には以下日程で指導員へ出席要請を行うので、普及委員会からのお聞きしたいテーマは事前にお知らせする。⇒継続審議

※次回以降の理事会は以下で出席要請となっている。

普及委員会からお聞きしたいテーマを配信して頂きたい。

※競技委員会/権田委員からの回答を頂いていない。

第16回理事会(12/16)⇒2021年度ジュニア指導員

第17回理事会(1/6)⇒2021年度成人シルバー指導員

第18回理事会(1/20)⇒会計担当・監事

第19回理事会(2/3)⇒広報委員会/中村委員 競技委員会/鈴木(良)委員

第20回理事会(2/17)⇒2021年度成人シルバー指導員

第21回理事会(3/3)⇒2021年度ジュニア指導員

第22回理事会(3/17)⇒広報委員会/中條委員 競技委員会/鈴木(良)委員

第23回理事会(4/7)⇒監事

4) 河野副会長提案について ⇒継続審議

第11回理事会から「指導員の確保」をテーマとして継続審議している。正会員の年齢構成から短期・中期・長期で協会・教室運営のあるべき姿を明確にする必要がある。

短期⇒協会：現在の委員、協力員で運営出来る体制の維持

教室：現在の指導員で運営出来る体制、方法を構築する

教室会員数（1レーン、1教室）、指導員体制、庶務員の有無等

中期⇒協会：委員会を超えた協力体制の確立

正会員を増やす仕組みを考える、何故正会員が増えないのか？原因を考えて対策をする

教室：外部指導員を誘致する方法を確立する、どこに働きかけるのか？

外部指導員の評価法、定着してもらうには何が必要か？

長期⇒協会：効率的な運営方法の構築、少人数での事業運営（記録会、市民大会）

教室：効率的な運営方法の構築

IT化を100%にする、ネット、メールでの事務処理が必要

※短期である正会員になって頂く短期目標について具体的な展開が必要の為、協議頂きたい。

正会員になって頂く事を最優先にし、教室会員が正会員になるメリットを明確にする。

①入会優先 ②会費の割引 ③個人への情報提供

5) 河野副会長不在の理事会議長について ⇒継続審議

現行ルールは理事長不在時は三役となっているので金子会長となる。

不在期間を明確にして頂きたい。

次回理事会 1月6日（木）19時30分～ 中央公民館学習室4

成人シルバー指導員出席対象